

甲府市内の福祉施設の給水設備点検にあわせて自動手指消毒器を寄贈

甲府市管工事
協同組合



自動手指消毒器22台を甲府市に寄贈

甲府市管工事協同組合（雨宮正理事長、組合員48社）は11月28日に甲府市内の保育所、児童館、福祉施設など22カ所の給

水設備の無料点検・簡易修繕を実施した。

この活動は組合設立40年を記念して始められ、今年で19回目となるボランティア活動。各施設の給水栓やトイレ・シャワーを含む設備の漏水点検に加え、不良個所の簡易修理や取り替えが行われた。

ボランティア活動の当日は、寒さが一段と厳しくなった中で、参加した作業員は寒さをものともしない手早い作業で点検・修繕を行った。点検が実施された各施設からは、「冬に向う中、毎日使うものなので本当にありがたい」と感謝の言葉が毎年よせられている。

また、今回の点検に併せて、新型コロナウイルス

感染症拡大の抑制を図るために、点検を行った全ての施設に自動手指消毒器22台を寄贈、事前に行われた贈呈式では、雨宮理事長をはじめとする組合執行部より樋口雄一甲府市長に目録が手渡された。

自動手指消毒器の寄贈は、折しも新型コロナウイルス感染拡大第3波が県内でも確認されはじめた時期でもあり、樋口市長から「インフルエンザとの同時流行が危惧される中、感染拡大防止につながるものと心から感謝します」と感謝の言葉があった。

甲府市管工事協同組合は昭和37年の設立以来、甲府市発注の工事を中心に共同受注事業に積極的に取り組み、中小企業庁（関東経済産業局）の「官公需適格組合証明」も取得、相互扶助の精神のもとに組合員が一丸となって日々、市民のライフラインを守る事業活動を行っている。



不良カランは無料で取替が行われた